

ほうでえ～

ありゃ～のう

周防大島町の話題

星野哲郎スカラシップ表彰式

11月12日、平野にある星野哲郎記念館において、星野哲郎スカラシップ（奨学金）の表彰式が行われました。

この奨学金制度は、平成19年の同館のオープンに際し、星野先生がふるさとへ感謝の気持ちを込めて創設された制度で、町内の学校に通う学生や町外の学校に通う町内在住の学生を対象に「周防大島と私の夢」をテーマに2000字程度のレポートを募集し、選ばれた学生に奨学金を授与してきたものです。このたび、平成20年度の制度開始から10回目を迎えたことから、今年度が最後の選考となりました。

平成29年度星野哲郎スカラシップには15名の応募があり、表彰式では選考により選ばれた5名の受賞者に対し、椎木町長から奨学金20万円と賞状が授与されました。

表彰式に出席した星野先生のご子息、有近真澄さんは、「困難も無く、課題も無い人は、自分の個性を作ることができません。みなさんはこれからの人生で、ぶつかる壁もあると思いますが、みなさんの個性と自分の世界を作っていただく下さい。また、星野哲郎は『みなさんは愛されているという事を忘れないで欲しい』と言っていました。保護者の方やここ周防大島に住んでいる方が、みなさんの成長を見守っているの、肩に力を入れず、自分の力を信じて、自分の未来を信じて歩いてください」と祝辞を述べられました。

■問い合わせ 商工観光課
☎08220(79)1003

年度「星野哲郎スカラシップ」表



受賞者の皆さん（写真右から）
石中 仁さん（柳井商工高等学校）
松村浩志さん（大島商船高等専門学校）
林 美咲さん（柳井高等学校）
椎木町長
大塚里咲さん（周防大島高等学校）
西本夏実さん（周防大島高等学校）

大島商船高専創基 120周年

明治30年に大島郡立の大島海員学校として創設され120周年、また、昭和42年に高等専門学校となって50周年を迎えた大島商船高等専門学校で11月18日、記念式典が行われ同窓生や在校生約850人が出席し、節目の年を祝いました。同校からはこれまで約8千人の卒業生を送り出しており、式で石田廣史校長は「地域や関連産業との連携を深め、社会が求める人材育成に力を注ぐ」と式辞を述べられました。



日頃の鍛錬の成果を競う

11月19日、大島郡武道大会が安下庄中体育館と周防大島高校の仮設弓道場を会場に行われました。今年で64回目を迎えた伝統ある大会で、剣道と弓道の部にあわせて65名が出場し真剣な闘いが繰り広げられました。

